

成長戦略局

局mission	「価値を売り込む力」と「稼ぐ力」をつけ、多様な社会ニーズを捉えた成長戦略に基づく市民が実感できるまちの変化を創出する。
局vision	市民一人ひとりがワクワクするような「価値ある変化」を創造し、このまちへの「愛着」と「誇り」が深まり、「選ばれるまち」として成長しながら、みんなで「ふだんのしあわせ」を高めつづける。
局value	【本質の探究】 本質を探究し続け、その背景にある本来の理由や価値を深く理解し、その先にある意思決定を正しい方向へ導き、市民に評価される「着実な成長」につなげる。
局運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや活動など特別な時だけでなく、ふだんの暮らしの中で心から感じることができる「価値ある変化」を創造する。 ・この「価値ある変化」により、河内長野市に暮らす人・働く人・活動する人にとって「愛着が高まり、誇りに思えるまち」へと導く。 ・そして、市外からも注目されるほど暮らす・働く・活動する場として「選ばれるまち」への成長を図る。 ・このまちをみんなでつくり、「ふだんのしあわせ」を高め続けるために必要な取り組みを戦略的に推進する。



成長戦略部	
部value	【まちの価値の向上】 未来に向け成長し続けるため、「まちの価値」を高める資源や魅力の発掘・創造
部運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・企業造成を着実に進め、域内での経済的波及効果の高い製造業を中心とした企業誘致に取り組むとともに、地域一体型オープンカンパニー事業を通じ、企業や商品・サービス等の知名度向上・販路開拓・企業間連携などの効果を創出するなど、市内企業の競争力強化をめざす。 ・寺ヶ池公園のリニューアル、スポーツ施設の再編、また、公共交通なども含めた各地域・拠点のまちづくりについて、行政だけでなく市民や事業者の方々と一緒に考えながら、将来世代に引き継がれる価値ある有形・無形の資産を創出する。 ・今後見込まれる人口自然減少による空き家の増加を転入増加による人口構造改善のチャンスと捉え、空き家の原因追究や空き家市場の動向を積極的に把握し、地域とともに空き家の循環促進に取り組む。 ・日本遺産や道の駅奥河内くろまるの郷周辺施設などを始めとした本市の多様な観光資源を更に磨き上げるとともに、市民の方々にはその魅力の共有を、また、市外の方々には新たな観光案内所などを通じ魅力を発信することで、交流人口の増加をめざす。 ・以上、「まちの価値」を高め、正のスパイラルを作り出すことを目的に、ハード・ソフト両面において、本市の魅力向上に資する様々な事業を戦略的に展開し、市民一人ひとりが「まちの変化」を実感できる取組みを推進する。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・旧赤峰市民広場、高向・上原地区および小山田西地区で実施されている企業用地造成事業を着実に進めるとともに、地域一体型オープンカンパニー参加企業の技術力を大阪・関西万博などで披露することで、知名度の向上と企業間連携を図ることができた。 ・寺ヶ池公園のリニューアルにおいて、市民参加のワークショップを複数回開催することで、市民ニーズを反映した、魅力ある公園広場とするための設計方針を固めることができた。 ・令和7年10月に実施されたバス再編の影響調査を行うとともに、来年度から始まる「地域ネットワーク型新公共交通」の構築に向けて始動した。さらに、今後爆発的に増加する空き家を、本市の人口構造を改善する「宝もの」として捉え、空き家流通促進事業を加速する体制を整えた。 ・奥河内くろまるの郷において駐車場を増設し、これまで以上に訪れやすい環境を整備するとともに、河内長野駅の1階および改札横に新たな観光案内所を設け、市内外の観光客に対して本市の観光資源の魅力を発信することができた。 ・令和7年度は、令和8年度からスタートする第6次総合計画を見据え、まちづくりの本質を捉えた今後10年間の成長戦略を整理した。本市の持続可能性を高めるため、人口維持の好循環を生み出す空き家の流通促進事業（「空き家×未来」プロジェクト）を成長戦略の柱に据え、この戦略の実現に向けて、令和8年度から様々な新規事業に着手する。

営業部	
部value	【正しいことにチャレンジし、成果にこだわる！】 未来の河内長野市のために、市民一人ひとりがワクワクするような「価値」を考えぬき、数々の正しいチャレンジと成果にこだわることで、価値を売り込む力と稼ぐ力をつける。
部運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・河内長野市に関わる全ての人に、「価値ある変化」を創造・強く発信し、本市に対する愛着や誇りを高めるとともに、市外からの注目を集めていくことでまち全体に「価値を売り込む力」をつけていく。 ・また、ふるさと納税や公民学の連携を通じて、未来の河内長野市のために必要不可欠な財源を確保する「稼ぐ力」と「まちの魅力のさらなる向上」の両輪を回していくことで、まちの価値を高め続ける。 ・上記実現のために、新たに着任した営業部長を中心に、庁内にとどまらず市民・事業者様と幅広く連携を図り、新たにチャレンジすること・変えないこと・やめることを戦略的に整理しながら、「成果創出にコミット」する組織運営を推進していく。 ・結果として、ふだんのしあわせと価値ある変化を実感する人を増やし、選ばれ続けるまちづくりに貢献することで、まち全体に「価値を売り込む力」と「稼ぐ力」をつけ、本市の持続的な発展を強く推進していく。
実績	<p>【価値を売り込む力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員へのインナーブランディングや、「つながる河内長野」や「若者ミライプロジェクト」を通じた市民参画の取組、情報発信の強化などにより、まちへの愛着や誇りが高まるとともに、市外からの認知や関心の向上につながった。 ・公民連携では、庁内研修や企業マッチングイベントなどを通じて協業に向けた基盤づくりを進めた。また、本市の課題や強みを企業等に積極的に売り込む機会を創出する方針を固めることができた。 <p>【稼ぐ力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税では、返礼品の充実や寄附サイトの改善、企業への働きかけなどの取組強化により、個人版約4.7億円、企業版約2.3億円、合計約7億円と過去最高額を更新した。あわせて、さらなる寄附拡大に向けた中期的な方針を整理した。 ・ネーミングライツでは、新たに3件の契約につながり、自主財源の確保を前進させることができた。